

高度人材育成事業関連イベント

2011.12.10

NHK E テレ「サイエンス ZERO」で、理化学研究所と岡山大学大学院医歯薬学総合研究科の共同研究成果などが取り上げられます。

シリーズ原発事故④「内部被ばくの実態を探る」

東京電力福島第一原発の事故によって汚染された水や食べ物を通じた内部被ばくについて、榎本教授らが分子イメージング画像を使った実験成果を紹介し、健康への影響や内部被ばくの実態を探ります。

サイエンス ZERO

<http://www.nhk.or.jp/zero/schedule/index.html>

2011年12月17日(土)(金曜深夜)

[E テレ] 午前 0:00～午前 0:30

2011年12月22日(木)

[E テレ] 午後 6:55～午後 7:25

2011年12月29日(木)

[デジタル教育 2] 午後 2:00～午後 2:30

2011.12.06

榎本教授と神野伸一郎理研榎本研究室研究員らの研究成果が、[月刊機能材料 2012 年 1 月号](#)に掲載されました。

Title: 新たな π 共役拡張型色素化合物アミノベンゾピロキサントレン系蛍光色素「ABPX」の開発

Aminobenzopyroxanthene Dyes(ABPX):A New Class of Rhodamine Dyes with Large

π -Conjugated System

Authors : 神野 伸一郎, 榎本 秀一

2011.12.01

榎本教授と宇宙研究開発機構 JAXA の武田伸一郎研究員、JAXA と東京大学大学院理学系研究科(物理)の高橋忠幸教授らの研究グループの成果が IEEE Transactions on Nuclear Science 誌に受理されました。

Title: Demonstration of in-vivo multi-probe tracker based on a Si/CdTe semiconductor Compton camera.

Author: Shin'ichiro Takeda, Hirokazu Odaka, Shin-nosuke Ishikawa, Shin Watanabe, Hiroyuki Aono, Tadayuki Takahashi, Yousuke Kanayama, Makoto Hiromura and Shuichi Enomoto

2011.12.01

当研究室の博士前期課程 2 年の竹中文章さんが、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産学官連携センター (OMIC) 助教に採用されました。

2011.11.28

2011 年 11 月 24-25 日に開催されました[第 33 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム](#)において、榎本教授が招待講演されました。

講演タイトル「複数分子イメージングのための各種分子イメージングプローブの創製研究」

2011.11.12

2011 年 11 月 22 日 (火) 理研 CMIS 研究員 長谷川功紀博士をお招きして、講演会を開催します。ポスターは[こちら](#)。

講演タイトル「ペプチドを用いた PET プローブ創製」

2011.11.05

[\(独\)理化学研究所神戸研究所一般公開](#)において、榎本教授が一般向けの特別講演をされました。

講演タイトル「からだの中のミネラルの動きを見る」

2011.11.01

榎本教授研究室の博士前期課程 2 年の東川 桂さんが、[日本学術振興会特別研究員 \(DC\)](#) に内定しました。2012 年 4 月から日本学術振興会特別研究員 (DC) として博士後期課程在学のみまで分子イメージング研究を推進していきます。

2011.10.27-28

[フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー](#) (金沢) において、榎本教授が招待講演されました。

講演タイトル「トキシコメタロミクスにおける分子イメージングからのアプローチ」

2011.10.24

榎本教授らの研究成果が[山陽新聞](#)に掲載されました。

記事名「放射性物質を複数同時測定：除染への活用に期待」

2011.10.19

榎本教授と理研本村信治研究員のコンプトンカメラ(GREI)に関する発明が米国で特許査定となりました。この特許は、特許協力条約(PCT: Patent Cooperation Treaty)に基づいて国際出願され、国内では平成22年4月に特許登録されています。

国内:特許第4486623号

PCT 出願番号:JP2007/065593

米国特許出願番号:12/377250

2011.09.26

榎本教授と[昭和薬科大学の遠藤和豊教授](#)、[明治大学農学部](#)の[塚田正道教授](#)らの研究グループの成果が [Analytical Bioanalytical Chemistry](#) 誌 (IF=3.891) に受理されました。

Title: Biliary excretion of essential trace elements in rats under oxidative stress caused by selenium deficiency.

Author: Yamasaki K, Sakuma Y, Sasaki J, Matsumoto KI, Anzai K, Matsuoka K, Honda C, Tsukada M, Endo K, Enomoto S.

2011.09.16

2011.9.14-9.16 に開催されました[日本分析化学会第60年会](#)において、榎本研究室の薬学科6年 巽朝菜さんが分子イメージング関連研究で[若手ポスター賞](#)を受賞されました。

2011.09.09

2011.9.4-9.8 に開催されました [International Conference on Metals and Genetics 2011](#) において、榎本研究室の博士前期課程 1 年赤田直輝さんが分子イメージング関連研究で [Poster Presentation Award](#) を受賞されました。

2011.09.09

2011.9.7 に学内で開催されました平成 23 年度卒業論文発表会において、榎本研究室の薬学科 6 年巽朝菜さんが分子イメージング関連研究で [ポスター賞](#) を受賞されました。

2011.09.09

2011.8.31-9.2 に開催されました [第24回バイオメディカル分析科学シンポジウム\(BMAS2011\)](#) において、榎本研究室の博士前期課程 1 年村上美穂さんが分子イメージング関連研究で [優秀ポスター賞](#) を受賞されました。

2011.08.31

榎本教授と御船准教授らの研究成果が、[YAKUGAKUZASSHI 第131巻8号](#) に掲載されました。

Title: 2,3,7,8,12,13,17,18-Octabromo-5,10,15,20-tetrakis(4-methylpyridyl)porphin と金属イオンとの反応に関する分光学的検討

Authors: 御船 正樹, 岩藤 章正, 谷口 将済, 神野 伸一郎, 榎本 秀一

2011.7.28-29

理化学研究所神戸研究所分子イメージング科学研究センターで、[分子イメージングサマースクール](#) が開催されました。榎本教授は以下のタイトルで講師として講演されました。

講演タイトル「複数分子イメージング(GREI)と創薬の活用」

2011.07.26

榎本教授が [科学技術振興機構\(JST\)の研究成果展開事業](#) に採択されました。

課題名「OMIC 小型加速器を用いた高純度ガンマ線放出核種製造技術の確立と新規分子プローブ標識法の開発」、平成 23 年度 300 万円

2011.07.26

神野伸一郎理研榎本研究室研究員が[科学技術振興機構\(JST\)の研究成果展開事業](#)に採択されました。

課題名「アミノベンゾピロキサンテン系色素を母核とする有機系固体発光性材料の開発」、平成 23 年度 169 万円

2011.07.20

榎本教授と理研榎本研廣村信研究員、福中彩子研究員らの研究成果が [RIKEN RESEARCH の Research Highlight](#) に掲載されました。

2011.07.07

7月6日(水)に岡山大鹿田キャンパスで開催されました[第41回メディカルテクノおかやま・サロン](#)において、神野伸一郎理研榎本研究室研究員が招待講演されました。

講演タイトル「イノベーション創出を目指した次世代型蛍光色素分子の開発と展望」

2011.07.05

2011年7月4日(月)に第4回岡山大&理研ジョイントシンポジウムが行われました。

「最先端計測技術のトレンド 2011」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(博士前期、博士後期課程)、分子イメージング教育コース(博士課程、博士後期課程)大学院講義

[シンポジウムプログラム](#)

2011.07.04

岡山大&理研ジョイントシンポジウム「最先端計測技術のトレンド 2011」 岡山大津島キャンパス [第4回岡山大&理研ジョイントシンポジウム「最先端計測技術のトレンド 2011」](#)において、榎本教

授が招待講演されました。

講演タイトル「OMICにおける分子イメージング研究の展開」

2011.06.29

29日(水)16:45～ KSB瀬戸内海放送のスーパーJチャンネル(ニュース)において、「[医歯薬学総合研究科産学官連携センター OMIC](#)」の事業が紹介され、榎本教授が出演されます。

2011.06.21

榎本教授と当研究室の博士前期課程2年東川桂さんらの分子イメージングに関連する研究成果が[山陽新聞](#)に掲載されました。

2011.06.20

2011.6.15-18に開催されました [3rd International Symposium on Metallomics 2011, Munster, Germany](#)において、榎本教授が特別講演されました。

Title of the presentation: Research and developments of the multiple-metal imaging system and new molecular imaging probes.

2011.06.01

榎本研究室の薬学科6年巽朝菜さんが、ICAS2011(2011.05.22-26 於 京都国際会議場)において、[Analytical Sciences Poster Presentation Award](#)を受賞しました。本賞は40歳以下の若手研究者が対象で、巽さんは最年少の受賞という快挙です(ポスター総数 645 件)。

【研究題目】Design and Synthesis of Rhodamine Dyes with Aggregation-induced Emission

【著者】巽朝菜、神野伸一郎、米田誠治、堀込純、東川桂、渡辺恵子、藤田芳一、廣村信、榎本秀一

2011.06.01

榎本教授と当研究室の博士前期課程2年東川桂さんらの研究グループの成果が [Biochemical and Biophysical Research Communications](#) 誌 (IF=2.548) に掲載が決定しました。

Title : Exploration of target molecules for molecular imaging of inflammatory bowel disease

Authors : Kei Higashikawa, Naoki Akada, Katsuharu Yagi, Keiko Watanabe, Shinichiro Kamino, Yousuke Kanayama, Makoto Hiromura, Shuichi Enomoto.

2011.06.01

2011年7月4日(月)に、第4回岡山大&理研ジョイントシンポジウム「最先端計測技術のトレンド2011」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(博士前期・博士後期課程)、分子イメージング教育コース(博士課程・博士後期課程)特別講義が開催されます。

シンポジウムのポスターは[こちら](#)

2011.05.24

榎本教授と神野伸一郎理研榎本研究室研究員らの研究成果が[山陽新聞](#)に掲載されました。

2011.05.23

[IUPAC International Congress on Analytical Sciences 2011](#), Kyoto

IUPAC International Congress on Analytical Sciences 2011 の Environmental Analysis のセッションにおいて、榎本教授が招待講演されました。

講演タイトル「The Multiple Molecular Imaging to Use for the Metabolic Studies in Animal and Plants」

2011.05.18

岡山大学学内教育 COE プログラム[「創薬従事者養成のための教育体制「岡山大学モデル」の構築」の報告会・公開講演会](#)において、榎本教授が招待講演されます。

講演タイトル「薬学生 Dead or Alive」

2011.04.22

榎本教授と徳島文理大学姫野誠一郎教授らの研究グループの成果が [Metalomics](#) 誌に掲載が決定しました。

Title : High sensitivity of RBL-2H3 cells to cadmium and manganese: an implication of the role of ZIP8.

Authors : Hitomi Fujishiro, Miwako Doi, Shuichi Enomoto and Seiichiro Himeno.

2011.04.22

榎本教授の複数分子同時イメージング法の開発研究がH23年度文部科学省概算要求において、「新成長戦略アクション・プラン」に採択されました。

* アクション・プランは、総合科学技術会議が司令塔機能を発揮して、府省連携を図り、重要施策への重点化等メリハリの効いた予算の実現を目指すもので、これにより、科学・技術予算編成プロセスの改革を進め、新成長戦略の実現が期待されるもの。

2011.04.20

榎本教授と神野伸一郎理研榎本研究室研究員らの研究成果が、[コンバーテック 2011年3月号](#)に掲載されました。

‘安価に大量生産できる凝集すると発光する蛍光色素‘

2011.04.18

榎本教授と神野伸一郎理研榎本研究室研究員らの研究成果が、[理研ニュース 2011年4月号](#)に掲載されました。また、この特許が、理化学研究所の「いちおし特許」に選ばれました。

‘凝集すると蛍光を発する有機系蛍光色素分子「ABPX」を開発‘

「いちおし特許」リンク先: <http://www.riken.jp/renkei/licensing1.html>

2011.03.23

榎本教授と福中彩子理研榎本研究室研究員、京都大学大学院生命科学研究科の神戸大朋准教授らの研究グループの成果が [J. Biol. Chem.](#) 誌に掲載が決定しました。

Title : Tissue non-specific alkaline phosphatase is activated via a two-step mechanism by zinc transport complexes in the early secretory pathway.

Authors : Ayako Fukunaka, Yayoi Kurokawa, Fumie Teranishi, Israel Sekler ,Kimimitsu Oda, M. Leigh Ackland, Victor Faundez, Makoto Hiromura, Seiji Masuda, Masaya Nagao, Shuichi Enomoto and Taiho Kambe.

2011.02.18

[京大炉専門研究会「有用放射性トレーサーの製造と利用」](#) 大阪

2月28日に開催されます京大炉専門研究会「有用放射性トレーサーの製造と利用」において、榎本教授が招待講演されます。

講演タイトル「理研(和光・神戸)におけるRI製造と分子イメージングにおける創薬研究とマイクロドーズ臨床試験の展開」

2011.02.18

榎本教授と神野伸一郎理研榎本研究室研究員らの研究成果が以下の新聞記事に掲載されました。

- 1)日経電子版 <http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=273697&lindID=4>
- 2)マイコミジャーナル <http://journal.mycom.co.jp/news/2011/02/18/004/index.html>
- 3)化学工業日報 [PDF](#)
- 4)日経産業新聞 [PDF](#)
- 5)科学新聞 [PDF](#)

2011.02.01

理化学研究所榎本研究室の[福地知則研究員](#)らと榎本教授のゲルマニウム半導体検出器用デジタルモジュール開発に関する共同研究の成果が、[IEEE Transactions on Nuclear Science](#)4月号(IF=1.595)に掲載が決定しました。

Title : A Digital Signal Processing Module for Ge Semiconductor Detectors

Authors : Tomonori Fukuchi, Youichi Arai, Fusao Watanabe, Shinji Motomura, Shin'ichiro Takeda, Yousuke Kanayama, Hiromitsu Haba, Yasuyoshi Watanabe, Shuichi Enomoto.

Issue Date: April 2011

Volume: 58 Issue:2

On page(s): 461-467

2011.01.25

神野伸一郎理研榎本研究室研究員らが [Chemical Communications](#) に発表した新規蛍光物質に関する論文が、米国化学会(ACS)の [Noteworthy Chemistry](#) (注目すべき化学研究論文)に選ばれました。また、Chemical Communications の [Top ten most accessed articles in November](#) になりました。

* Noteworthy Chemistry

米国化学会(American Chemical Society) が、全世界の膨大な情報の中から毎週いくつかの革新的なアイデアをもつ研究成果を取り上げて紹介するサイト

2011.01.13

榎本教授と理研仁科加速器研究センター 羽場宏光専任研究員、理研分子イメージング科学研究センター 本村信治研究員、神野伸一郎研究員らが執筆した [Handbook of Nuclear Chemistry 2nd Edition](#) が Springer 社から出版されました。全6巻のうち第2巻が榎本教授らの担当執筆です。

Handbook of Nuclear Chemistry 2nd Edition

Vol. 1: Basics of Nuclear Science;

Vol. 2: Elements and Isotopes: Formation, Transformation, Distribution;

Vol. 3: Chemical Applications of Nuclear Reactions and Radiation;

Vol. 4: Radiochemistry and Radiopharmaceutical Chemistry in Life Sciences;

Vol. 5: Instrumentation, Separation Techniques, Environmental Issues;

Vol. 6: Nuclear Energy Production and Safety Issues.

Vertes, A.; Nagy, S.; Klencsar, Z.; Lovas, R.G.; Rosch, F. (Eds.)

Version: 2nd ed., 2011, 3324 p. eReference. In 6 volumes, not available separately.

ISBN: 978-1-4419-0720-2

Due: January 13, 2011